

新型コロナウイルスのワクチン接種について

2月中旬に新型コロナウイルスのワクチン接種が医療者から始まるようとしております。患者様からの質問も多くよせられておりますので当クリニックの考えを述べさせていただきます。

基本**ワクチン接種は受けるべき**あると考えます。日本人に対する臨床データはまだ十分とは言えません。しかし欧米を含む臨床データからみると副反応は黙認できる範囲であり効果も期待できます。ワクチンは筋肉注射であり接種部位の腫れや微熱、倦怠感接種後2日程度出現するので今までのインフルエンザワクチンより副反応は強そうですが怖い副反応のアナフィラキシーは多くありません。100万人につき2.8回から5回位でインフルエンザワクチンの1.4回に比べれば多く見えますが抗生剤では100万人あたり200回の確率があり低いと言えましょう。アレルギー体質が強く今までほかのワクチンでアナフィラキシーを起こしてなければ確率は非常に低いと思います。

ワクチンを接種するとコロナに罹る確率は5から10%と言われおりこれはインフルエンザ50%と比べ良く効くと思われれます。あとワクチン接種後重症化する例がほとんど見られないことは重要です。

現在非常事態宣言の下コロナ新規患者は減少傾向がみられるものの未だに高い水準です。今後、変異種の流行が予想され予断は許されません。高齢、糖尿病、肥満、心血管病、高血圧、肺疾患など重症化因子があり、**更にそれが重なる方はワクチン接種が必須**であります。

ワクチン接種は各自治体単位で行われ、鎌倉市の方は鎌倉市で行われます。鎌倉市は体育館等を使用しての集団接種になります。高齢者の方は3月中にはクーポン券が郵送されそのときに詳しい情報がわかるはずですが、いずれにせよなるべく多くの方が早く接種すればコロナの終息が見えてくるでしょう。

令和3年2月15日

高井内科クリニック 院長